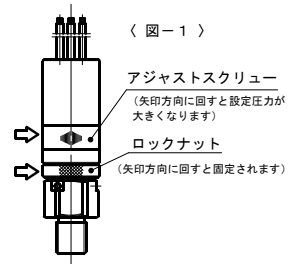


J P型圧カスイッチ取扱説明書

1. J P型圧カスイッチの取扱い方法

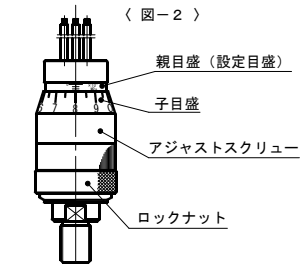
① J P-A型 J P-B, B 1L, B 1H, B 2型 図-1 参照

設定圧の決定・変更は、圧カスイッチを取付け、リード線にテスター等を接続します。次に圧カを変化させて接点の状態を確認し、希望の設定圧になるまでアジャストスクリューを回して調整します。設定後アジャストスクリューが回らないようにロックナットで固定してください。(なお、B型シリーズはロックナットに3mmのセットビスが付いていますので、固定後セットビスで止めてください。)



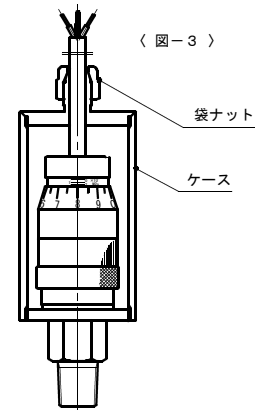
② J P-C, E, EH, G型 図-2 及び図-4 参照

目盛付圧カスイッチは、設定用の目盛で希望の圧カになるまでアジャストスクリューを回して調整します。(微調整は、圧カ計等をご使用の上設定してください。)設定後はロックナットでアジャストスクリューを固定してください。(アジャストスクリュー)が空回りする時は、下方へ押しながら回すと調整が可能になります。)



③ J P-V型 図-5 参照

真空スイッチの親目盛は、圧カスイッチと数字が逆になりますので、-1.0、-0.9、-0.8 (単位: $\times 10^{-1}$ MPa) となります。また、子目盛は数字の読みが逆になりますので注意してください。例えば上限-0.046MPaに合わせる時は、親目盛を-0.5台(0.05MPa)、子目盛を4(0.004MPa)に合わせて下さい。(0.05MPaから0.004MPaを差引いた位置が-0.046MPaを示します。)上限 -0.04MPaに合わせる時は、親目盛は0.4の線上、子目盛は0位置になります。(微調整は、真空計等をご使用の上設定して下さい。)



④ HP-JP-C, E, EH型 図-3 参照

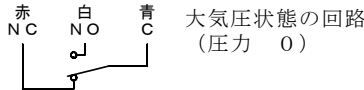
袋ナットをゆるめてからケースを外して、②と同様に圧カ調整を行ってください。設定後ケースを組み込み、袋ナットを締め込んで下さい。

⑤ 電気接続

リード線の長さは標準約30cmです。(HP-JP型は50cm)

コードの接続は次の通りです。

共通(C) ----- 青色コード (キャプタイヤコードの時黒色コード)
 常時開(NO) ----- 白色コード
 常時閉(NC) ----- 赤色コード



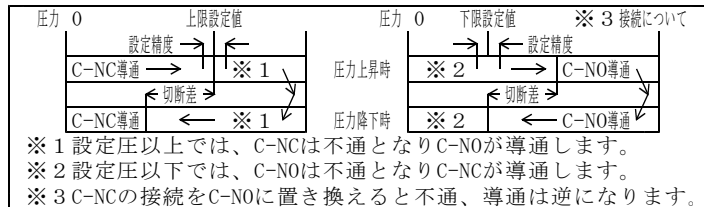
2. 圧カスイッチに用いられる用語

◎ 設定値(上限設定値、下限設定値)

設定値とは電気接点が開または閉となる、ある定められた圧カ値を示します。原理上、切断差(D・B)が存在しますので、圧カが上昇して行く時の設定値を上限、降下して行く時の設定値を下限設定値といいます。(真空スイッチは大気圧を“0”として真空度が上昇する時を上限、降下する時を下限設定値といいます。)

◎ 設定精度

設定精度とはある設定値の圧カスイッチが繰り返し反復動作した時に、設定圧に対して正確に働く度合いを示します。)



3. 圧カスイッチの使用上の注意

① J P型圧カスイッチは構造上、切粉等の異物が流体にあると、隔膜の破損によるリークや作動不良の要因となりますので絶対に避けて下さい。(フィルター付きのものも製作可能です。)

② リード線は強い力で引っ張らないで下さい。機器に取付使用される場合はリード線に余裕をもって設置して下さい。(ご希望のリード線の長さで製作可能です。)

③ 周辺温度は-15~70℃の範囲でお使い下さい。(ただし60%RH以下凍結しないこと)

<p>例 JP-C</p> <p>親目盛 4 子目盛 0 設定 上限 0.4MPa</p>	<p>例 JP-V</p> <p>親目盛 -0.4 子目盛 0 設定 上限 -0.046MPa</p>
<p>〈目盛の読み方〉目盛は親目盛(設定目盛)と子目盛に分かれており、親目盛は数字$\times 10^{-1}$MPa、子目盛は親目盛を20分割してあります。</p>	



株式会社 山陽計器製作所

本社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-11-9-201
 TEL03-3765-7481(代表)

FAX03-3768-1930
 下松工場 〒744-0075 山口県下松市瑞穂町2-4-20
 TEL0833-43-4527
 FAX0833-43-4528

e_mail sks@sanyokeiki.co.jp
 URL http://www.sanyokeiki.co.jp